



申1号「駅体制の見直しについて」団体交渉開催！（その①）

①今施策の目的を明らかにし、安全で働きやすい職場環境を構築すること。

組合：今施策の目的を明らかにすること。

会社：「変革2027」の実現に向け、効率的な業務執行体制を構築し生産性の向上を図り、経営体質の抜本的強化に取り組む必要があるから、駅体制の見直しを実施することとした。

組合：今施策を安全で働きやすい職場環境を構築すること。

会社：施策の実施は安全第一で行う。今施策では話せる指定席券売機を高萩駅に導入し、代替手段を導入した。働きやすさが低下する認識はない。

組合：お客さまサービスを低下させない施策とすること。

会社：今施策では高萩駅に話せる指定席券売機を導入し、作業ダイヤを柔軟にするため、新たな価値が創造できる認識である。今の営業職場は乗車券類の発売だけではない。サービス低下にはならない認識である。

組合：箇所体制について勝田営業統括センターの一般変形等1が減少する根拠を示すこと。

会社：高萩駅にお客さまサポートコールシステムの稼働時間帯を拡大し、日勤が減少となる。

確認事項 今施策で安全で働きやすい職場を構築すること。

②みどりの窓口販売体制について、今後のお客さまサービスを低下させない対策を明らかにすること。

組合：高齢者や不慣れなお客さま等に対する販売体制について明らかにすること。

会社：話せる指定席券売機やお客さまサポートコールシステムで対応する考えである。また、社員による案内等の声掛け等を行う考えである。

組合：指定席券売機等で発売出来ない乗車券類がある中で、みどりの窓口営業終了を順次行う理由を明らかにすること。

会社：本社が昨年発表したみどりの窓口によらない体制を目指し、変革2027で目指す鉄道運輸収入と生活サービス事業収入の5：5を早期に実現していくため、チケットレス化を更に推進する考えである。指定席券売機で発売出来ない乗車券類があるのは事実だが、件数が多いものではない。指定席券売機で発売出来ない乗車券類はみどりの窓口設置駅に便宜乗車等で案内する考えである。

組合：指定席券売機で発売出来ない乗車券類があるため、お客さまサービスが低下する認識である。対策を構築すること。

会社：一部だけ切り取ればお客さまサービスが低下すると認識すると思うが、幅広いサービスの提供に注力していく考えである。著しくお客さまサービスが低下する認識はない。

働きやすい職場環境を実現しよう！

その②へ続く